

津久戸

令和7年4月30日

5月号 — 新宿区立津久戸小学校

津久戸小のひみつ

副校長 和歌恭子

風薫る5月になりました。ついこの間まで桜が咲いていた校庭には今、青葉が生き生きと繁り、夏を感じさせる風に揺れています。

さて、その校庭に、ハート型の葉っぱをもつ木が生えています。それが、津久戸小のひみつ①です。

木の根元には、「いいぎり」と書かれた札が立っています。木の名前のようだけど、聞いたことがありません。でも、PTA広報誌の名前にもなっています。そこで、学校のホームページとインターネットで調べてみました。

結論から言うと、「いいぎり」は、津久戸小の「校樹」でした。植物としては、「飯桐」とも書き、桐に似た葉っぱがご飯を包むのに使われたことから、この名前がついたのだそうです。赤い実がつからしいのですが、本校のいいぎりの木は、たまにしか実をつけない？との話も聞きました。その理由は、まだ明かされていない謎のようです。

さて、次なる「ひみつ」は、校庭に面したベンチに座る小さな子供たちです。1年生より更に小柄な体躯。

保護者の方にはもうお分かりかと思いますが、同じ校舎内に、幼稚園も併設されているのですよね。実際に目を見ると、その可愛らしさにびっくりします。ひみつ②は、津久戸幼稚園でした。

放課後にそっと幼稚園エリアに探検に出かけた私は、ある部屋でウサギと目が合いました。ウサギ！しかもカゴの扉が開いているし！きいてみたところ、このウサギはミミちゃん10歳、トイレのしつけもばっちり、年長さんがお世話をしているとのことでした。夜に可愛いウサギが部屋を散歩する幼稚園が併設された津久戸小学校。すてきです。

その卒園生を含む53名が本校に入学し、先日、児童主催の「一年生を迎える会」も行われました。司会をしていた児童委員の6年生の話しぶりが素晴らしく、こんなふう立派に成長していくのだなと感心しきりでした。

第一回目の地域協働運営協議会も行われ、地域の方や保護者の方が津久戸小に熱心に関わってくださっていることも分かりました。

これからも、新しく見つけた津久戸小の魅力をお伝えできればと思います。

お世話になりました



《転出》

副校長

子供たちには元気と笑顔をもらい、保護者や地域の皆様には温かさと津久戸小を愛する思いをいただきながら過ごした3年間でした。副校長として初めて勤務した学校が伝統ある津久戸小学校であることを誇りに思い、これからも頑張っていきます。ありがとうございました。

主任教諭

6年間ありがとうございました。朝から校庭に響く元気な声を聞きながら、教室で準備をするのが好きでした。自分のことより友達のことを気に掛けられるのは、皆さんの良いところです。これからも、自分の時間を少しだけ人のために使うことのできる皆さんでいてください。

教諭

大学を卒業し、初の赴任先が津久戸小でした。7年間、大変お世話になりました。元気な子供たち、温かい保護者の皆様、明るいこの町が大好きです。これからも、町のシンボルとして津久戸小が輝くことを願っています。ありがとうございました。

教諭

6年間大変お世話になりました。津久戸小学校の子供たちはどの学年も元気いっぱい、皆さんと過ごすことが楽しかったです。いつまでも元気で一生懸命な皆さんで居てください。本当にありがとうございました。

事務主事

2年間本当にお世話になりました。事務員という立場でしたが、皆さんと楽しい思い出をたくさん作れたことを感謝しています。これからも自信をもって皆さんらしく成長して行ってください。

《退職》

教諭

2年間お世話になりました。皆さんのおかげで、毎日楽しい日々を過ごすことができました。どの学年の子供たちも、元気いっぱい話しかけてくれて嬉しかったです。皆さんのことは忘れません。

教諭

楽しい学級づくりを目指した一年間でした。自分たちのことは、担任と相談して自分たちで決める経験を積み重ねてきました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。楽しかったです。

教諭

私が子供の時は先生のことなんて全然気にしてなかったけれど、津久戸の子たちは大人のことをしっかり見ているなあって驚嘆しました。みんなすごい！